

『切らずに治す』 新しい痔の治療を始めました

— ジオン (ALTA) 注射療法 —

大津市民病院では、切らずに治す新しい痔の治療法「ジオン(ALTA)注」を始めました。

「ジオン(ALTA)注」ってどんな治療法？

この治療法は平成 17(2005)年に保険適用となった新しい治療法で、排便時に出る、あるいは普段から出たままになっているような内痔核(脱出する内痔核)を、注射によって治療する方法です。従来、脱出する内痔核は手術で切除していましたが、内痔核を切らずに注射で治療することが可能になりました。そのため

- 痔核の痛みがない部分に注射するので、傷口の痛みや出血がほとんどありません。
- 入院期間が短縮できます(一定間隔での通院は必要です)。
- 日常生活への早期復帰が図れます(排便・入浴は翌日から、仕事は翌々日から可能です)。
- 手術に比べて治療費がかかりません。

などのメリットが期待できます。

「ジオン(ALTA)注」ってどんな薬？

硫酸アルミニウムカリウム水和物とタンニン酸という薬で、痔に流れ込む血液の量を減らし、痔核を硬化・縮小させることで症状(出血や脱出)を改善します。有効成分の頭文字から、「ALTA」とも呼ばれます。

「ジオン(ALTA)注」の投与方法は？ 投与したらどうなるの？

薬を十分浸透させるため、一つの痔核に対し 4 カ所に分割して投与します。これを四段階注射法といいます。複数の痔核がある場合、それぞれに注射を行います。

投与後しばらくすると出血が止まり、脱出の程度も軽くなります。そして、1 週間から 1 ヶ月程度で痔核の脱出や肛門周囲の腫れがなくなります。

※肛門周囲の括約筋を緩め注射をしやすくするために、「ジオン(ALTA)注」投与の前には肛門周囲あるいは下半身だけに効く麻酔を行います。麻酔法については医師に確認してください。

- 全ての脱出する内痔核を治せるものではありません。治療法については、診察の結果で判断します。
- 「ジオン注」治療において、望ましくない作用(副作用)が起きることもあります。普段と違う気になる症状があらわれた場合は、すぐに受診してください。
(例) 肛門部の違和感(重いような感じ)…数日でなくなります。
肛門の粘膜(投与部分)が硬くなる…通常自然に治ります。
その他、一過性の発熱(投与 2 週間後まで)や痛み、出血、排便がしづらいなどの症状。

- 他の医療機関で直腸肛門を受診する際は、ジオン治療を受けたことを必ず伝えてください。

当院では患者さんのプライバシーへの配慮と、リラックスできる環境づくりに努めています。
お気軽に痔の悩みをご相談ください。